

情報学ワークショップ 2009 論文概要フォーマット

情報 太郎 浜松 花子

情報大学情報学部

Information Workshop WiNF 2009 Paper Format

Taro Info Hanako Info

Faculty of Information, Information University

論文概要

WiNF:情報学ワークショップは東海地区を中心として大学,企業等の情報技術に関する最新の研究成果を発表すると共に,広く情報技術の交流の場を提供することを目的として,2003年に静岡大学で第1回ワークショップを開催しました。その後,第2回も静岡大学で,第3,4回は愛知県立大学で,第5,6回は名古屋大学で開催してきております。この度,2009年度の第7回情報学ワークショップを名古屋工業大学で開催することになりましたので,情報学分野の情報交換の場として多くの方の参加を期待しております。

今年度,論文集には1ページの概要を掲載することにし,論文の本文はCD-ROMに収録することとしました。従いまして,論文概要1ページおよび論文本文の2つを提出していただきます。論文概要はこの文書に準じたスタイルで提出してください。タイトルは12ポイント,著者名,所属は10.5ポイント,アブストラクト,キーワード,参考文献は10ポイントです。マージンは上下が3cm,左右が2cmとします。必ず1ページ以内に収めてください。ページ番号をつけないでください。

締め切りは論文概要,論文本文ともに10月16日(金)です。フォーマットファイルに準拠したワードファイル及びPDFファイルを,「winf09@cs.nitech.ac.jp」宛に,お送りください。よろしく申し上げます。

キーワード

情報学,ワークショップ,論文形式,提出期限

参考文献

- [1] 牧野敏行,犬塚信博:関係データベースシステムを結合した論理データマイニングの実装,情報学ワークショップ2008(WiNF2008)論文集, pp.123-128 (2008).
- [2] Nobuhiro Inuzuka, Junichi Motoyama, Shinpei Urazawa, Tomofumi Nakano: Relational Pattern Mining Based on Equivalent Classes of Properties Extracted from Samples, Proc. of 12th Pacific-Asia Conference on Advances in Knowledge Discovery (PAKDD2008), Lecture Notes in Artificial Intelligence Vol.5012, Springer, pp.582-591 (2008).

(参考文献の書式例)